

# 予算委員長報告

平成31年3月22日

去る3月1日に開議されました本会議において、本委員会に付託されました「議第51号 平成31年度安来市一般会計予算」については、その審査の経過の中で3月19日の本会議で撤回となり、同日の本会議で改めて上程された「議第62号 平成31年度安来市一般会計予算」が本委員会に付託されましたので、その審査の経過と結果を報告いたします。

平成31年度の予算編成は、引き続き第2次安来市総合計画の将来像である「人が集い 未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向けた施策、及び安来市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少対策と、中期財政計画を踏まえ、安来市の創生を目的とした施策への取り組みを重点的かつ着実に推進し、歳入では課税客体的確な捕捉に務め財源確保を強化し、歳出では公共施設等総合管理計画を着実に推進することで、将来負担の軽減を図るものであることなどが示されました。

一般会計当初予算の審査方針では、一般財源の減少が見込まれるなか、多様化する市民ニーズを的確に把握し、事業の成果や優先順位の検証、さらには緊急性・重要性・費用対効果などを委員全員が認識・理解し、十分な議論を交わしていただくことが必要との考え方で、3月14日から19日までの延べ4日間をかけて、予算審査することといたしました。

その中で、第1条中、歳入関係全般及び第2条から5条までの審査を行い、その後、常任委員会の所管ごとに、事業・施策と関連する歳出予算について款別に審査をおこないましたが、3月19日の本会議で「議第51号」は撤回され、改めて提出された「議第62号 平成31年度安来市一般会計予算」について、同日に本委員会を開催し、修正後の歳入歳出予算を一括して審査しました。

これまでの審査の経過について、主なところを報告いたします。

歳入については、一般財源を中心に補足説明がありました。

委員から、「工業団地整備事業に対する土地開発公社への損失補償として、債務負担行為も計上されており、先の一般質問では工業団地整備事業は順調に進んでいるとの答弁があったが本当に間違いはないか。」との質問があり、執行部からは「歳出のところで詳しく説明させていただきたい。」との答弁でした。

次に、歳出についてであります。

【総務企画委員会所管】では、「市史編さん費」、「国際交流推進費」、「地域センター費」、「防災費」の他、「工業団地整備事業費」、「安来節振興費」、「観光施設整備費」などについての事業内容と、それに基づく財源の説明を受けた後に審査に入りました。

執行部より工業団地整備事業について、「農地転用手続きの関係から土地開発公社が事業主体での事業進捗が困難となった。」旨の説明がありました。ここでは多くの委員から意見が集中し、「開発エリアの中に農地が含まれていることは、当初計画の段階で把握されるべきことである。」また「本年2月に土地開発公社主体での事業が進捗できないことが判明しているにも拘らず、歳入審査の段階では土地開発公社関係の債務負担行為をそのまま説明し、

歳出予算審査になって初めて明らかにするなど、これでは議会にとって市民への説明責任が果たせない。」更に「当初予算書と事業別概要書の内容も違うので、予算審査にもならない。当然認めるわけにもいかない。」などの様々な厳しい意見が出されました。執行部からは「市が事業主体となること自体で、事業内容及び市の負担額に影響はない。更に、特別会計への予算組み替え手続き等で一定の時間を要するため、5月中に全員協議会を開催していただき、今後のスケジュールを含めた事業の詳細を説明させていただくうえで、6月定例会議において関係条例及び予算を上程させていただきたい。」などの答弁がありました。

この様な状況で、これ以上予算審査を進めることは無理と判断し、委員長判断で一旦予算委員会を中断し、緊急に議会運営委員会を開催して、今後の審査の進め方を協議していただきました。そして、3月19日の予算委員会で、執行部より現時点で提示可能な資料に基づき再度説明を受けて審査することとしました。

次に【地域振興委員会所管】では、執行部から「農業振興費」、「新規就農円滑化対策事業費」、「森林環境保全事業費」、「どじょう振興費」、「道路改良事業費」、「安来港飯島線道路改良事業」、「中海ふれあい公園整備事業費」、「住宅団地促進費」、「公営住宅整備事業費」などについての事業内容と、それに基づく財源の説明を受けた後に審査に入りました。なお、森林環境保全事業費の森林環境譲与税について、12,638千円の当初配分予定が林業就業者数の増加に伴い13,003千円に増額配分となる旨の補足説明もありました。

委員からは、「水産業振興費のサルボウガイ養殖事業について、事業別概要書には『中海におけるサルボウガイ生産の復活』との記載もあるので、更に予算を拡充し生産量を上げて安来市の特産品にさせていただきたい。」との要望がありました。また、「どじょう振興費の中で、昨年の3月定例会で生産組合の施設移転の陳情があり、趣旨採択とした経緯がある。その後移転は断念されたと聞いているが、この地域でのほ場整備計画もあり、今後も現在地での運営を考えているのか。」との質問に対し、執行部からは「基本的には現在地での運営を考えている。しかし、施設の老朽化や視察の受入れ態勢もあるので、先程のほ場整備計画の中で今後検討したい。」との答弁でした。また、「公営住宅整備事業費で市営長谷津団地の建替工事については、現況の115戸が50戸程度に減る見込みであるが理由を伺いたい。」との質問に対し、執行部からは「公営住宅の建替えについては、第二次安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき年次計画で現在の管理戸数以下としたい。市営長谷津団地も同様に減らす考えであるが、50戸程度としているのはあくまでも予定であり、平成31年度に予定の調査・設計により決定するものである。」との答弁でした。更に、「住宅団地促進費でハーモニータウン汐彩の平成31年度の分譲区画目標数を伺いたい。」との質問に対し、執行部からは「当初予算では新築支援補助金を5軒分計上しており、あとの住宅貸付事業と定期借地権制度を含めて10区画弱を見込んでいます。」との答弁でした。

次に【文教福祉委員会所管】では、「福祉医療費」、「障がい者総合支援事業費」、「保健衛生総務費」、「企業会計負担金（病院事業）」、「ごみ減量化・資源化推進費」、「バス事業費」、「外国語指導事業費」、「教育支援事業費」、「総合文化ホール整備事業費」、「文化財総務費」などについての事業内容と、それに基づく財源の説明を受けた後に審査に入りました。

委員からは、「民生委員費の中で、市民生活や地域福祉に関わる相談内容が複雑化する中

で、現在の民生委員・児童委員の人数と今後充足する考えはないか伺う。」との質問に対し、執行部からは「定員数の規定があり、現在の人数は126名である。また充足については、相談内容が複雑化する中で、市民生活や地域福祉に関わる相談業務をより住民に寄り添った対応と、更には地域防災に関わる指導的立場としても幅広く活躍いただいております、当面は現状のままと考えている。」との答弁でした。また、「ごみ減量化・資源化推進費の中で、新規にごみ収集指定袋の販売店への配送委託料120万円余を計上との説明があったが、その理由を伺う。」との質問に対し、執行部からは「特に市内大型スーパーより配送の要望があり、他市の状況を確認したところ、県内全ての市で販売店へ配送している状況で、それに揃えた。」との答弁でした。更に、「市立病院会計負担金の安来市立病院経営・整備検討事業では、『業務委託による現状分析、課題等をもとに検討する。』とあるが、現状分析や課題は市立病院で従事するスタッフが一番把握していなければならないことではないのか。また、この事業の具体的なスケジュールを伺う。」との質問に対し、執行部からは「市立病院の現状と併せ、近隣の急性期医療の動向、並びに医師確保なども踏まえた中で課題抽出を考えている。また現時点でのスケジュールは、5月までに検討委員会を立ち上げ、年内に5回の検討委員会を開催し、基本構想（案）として示す。」との答弁がありました。

3月19日の予算委員会の前に本会議が開催され、そこで「議第51号 平成31年度安来市一般会計予算」は撤回され、一部を修正した「議第62号 平成31年度安来市一般会計予算」が上程され、本委員会へ付託されたことを受け、本会議終了後に予算委員会を再開しました。

「議第62号」は当初の「議第51号」から、工業団地整備事業の関係が全て削除され、歳入歳出それぞれ2千7百万円を減額した予算総額239億7千3百万円の案が示された中で、総括質疑に入りました。委員からは、数件の確認事項等がありましたが、いずれも予算に直接影響するものではありませんでした。

なお、委員会採決の前に、提出議案に対する委員の意思を確認する中で、一部の委員からありました異議、反対である旨の発言を踏まえ、挙手による採決を行った結果、賛成多数により「議第62号 平成31年度安来市一般会計予算」は、執行部原案の通り可決すべきものと決しました。

以上、委員長報告といたします。